

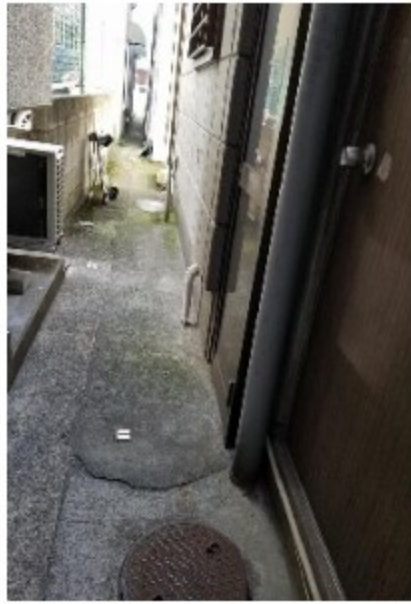
# 新しい台東

新しい台東社  
台東区千束2-18-1  
7高井方  
Tel. 6795-0245

区民が所有地を出し合って長年共同で利用し、防災や地域コミュニティにとって大事な役割を果たしている私道が、マンションや建売住宅などの建設により脅かされています。台東区は、開発事業者などが土地を取得する段階から守るべきルールをつくるべきではないでしょうか。

## 防災・コミュニティの財産 私道、開発で危機

### 区は土地取得時からのルールを



マンション敷地(奥)が大幅に狭めている鳥越の私道

鳥越では、戦争直後、十数軒が裏の地所を双方から60〜70cmずつ出し合ってつくられた私道の一部が、マンション開発業者に買収され、地境にフェンスがつくられることになった。マンション敷地部分だけ50cm程度の道幅になり、横歩きしないと通れなくなりました。

この私道は、区道に出るまでの二方向避難という防災の役割、その下に下水管を敷設し生活排水と雨水処理の機能など、重要な役割を果たしてきました。

私道に面して各家の勝手口があり、夕飯のおかずを差し入れし合う、コミュニティを育む空間でもありました。下水管の一部がマンション敷地内に入るため、フェンスがつくられると管のメンテナンスもできません。

浅草橋でも共同の私道上にマンションが計画され、二方向避難が阻害され、下水処理にも支障が出ます。

谷中では、建売住宅のデベロッパが数棟の生活排水を、隣接する私道の下に近隣が共同で敷設した下水管で処理させてくれ、と要望してきました。さらに建築・工事計画を一方的に通告し、建設資材を運ぶトラックの私道通行を求めてくるなど、強引なやり方に怒った近隣住民は「共同下

水道は使用させない」「工事車両を通行させない」と態度を硬化させています。

台東区は、開発事業者が土地を取得する際に「事前調査など、私道を脅かすトラブルを未然に食い止めるルールをつくるべきです。」

区長発言は、防災対策、基本構想については概ね理解できます。しかし、今後の区政

問題なのは「中長期

この最大の使命と

### 公共施設再編に踏み込み

あきま洋区議団長が談話

台東区議会第3回定例会冒頭での服部征夫区長の発言に、日本共産党あきま洋区議団長がコメントを発表しました。

◇

◇

この最大の使命と

この最大の使命と

この最大の使命と



8日、台東総がかり行動実行委員会による安倍改憲ノーの署名行動に参加した小高あきら区議とマイクを握る山口銀次郎地区青年学生部長(その左)。この行動は丸3年続いています。

### 休日診療当番医

◆9月16日(日)			
《内科》	梅沢医院	千束2-20-2	(3872)8230
《内科》	金井クリニック	下谷2-4-2	(3875)2761
《歯科》	歯科医師会診療所	根岸4-1-28	(3874)6433
《薬局》	はるか薬局	千束2-19-2	(5824)8921
《薬局》	西村薬局	下谷2-3-5	(3873)4735
◆9月17日(月・敬老の日)			
《内科》	浅草ハートクリニック	花川戸1-13-15	(6231)7581
《内科》	桜木内科クリニック	上野桜木1-10-11	(3827)8401
《歯科》	秋山歯科医院	浅草橋1-27-3	(3866)1518
《薬局》	浅草わかば薬局	花川戸1-13-16	(6231)7066
《薬局》	オーラム薬局	上野桜木1-10-11	(5842)1454

☆診療時間は、内科 9〜22時、歯科 9〜17時です。  
☆子どもクリニックは、9〜22時 永寿総合病院 小科医が診察します。